

平成30年7月豪雨災害に係る住民説明会【船木地区】 質疑応答の概要

日時：平成30年9月24日（月） 14時～17時

場所：旧船木小学校 ランチルーム

発言順	質問	回答者	回答・発言要旨	備考
1	被災した集会所を全額三原市で修復して欲しい。	市	市の全額負担は困難である。現状、1/2 補助 1/2 地元負担となっているが、今回の災害を受け、地元負担については内部で検討をしていきたい。	
	船木コミセンの床の材質について、コンクリとラバーに変更すると聞いたが本当か。利用団体の意見を取り入れて欲しい。近辺で事例があれば、自費で視察に行くので情報を教えて欲しい。	市	利用団体等の意見も参考に、材質を検討する。事例等があれば連携する。	※飛行機音あり
	管工事組合との災害協定は、効果があったか。	市	水道部職員は施設の復旧に、協定を交わしている管工事組合は水道管の復旧に当たった。協定を結んだことで、分業でき、役に立ったと認識している。	
	空港建設時に整備したサイレンが鳴っていない。	市	サイレンの存在を知らなかった。	
2	サイレン及びポンプが作動していなかった。市に何回電話しても、職員がいないとのことでした。三原市職員何人いるんですか。	市	未回答	
	コミセンの床の材質，ラバーは8～9年しか持たない。木だったら30年～40年持つ。ランニングコストを考えているか。卓球には、ラバーは不向きではないか。	市	耐久性も含めて、どの材質が良いのか検討する。	※飛行機音あり
3	先日、町内会で要望書作って、どういう対応・対策をしてくれるのか。提出場所は？	市	提出場所は復興・復旧推進本部（総務課）に出していただき、各担当部署に回し回答する。	
4	川底を削ってほしいとお願いをしたが沼田川は堆積した土砂が中州となり、木が生えている。人災と思っている。どうお考えでしょうか。	県	樹木と堆積土の影響については、有識者で構成するあり方検討会で議論する。検討結果については公表していく。	
		市	このたびは激甚災害です。人災という声もあるが、検証をさせてください。必ず検証しますので、ご協力よろしく申し上げます。	
	船木地区で避難する場所がない。本郷にしかない。	市	避難所は4ヶ所あるが、洪水には対応していないため、今は避難所として本郷小学校としている。避難については、避難所へ行くことが困難な時は垂直避難を呼びかけている。	

5	道路の完全復旧の予定は？	市	現在、迂回路がない道路を中心に仮復旧。随時、査定を受け、緊急性を踏まえながら、できるだけ早く復旧できるよう努力します。	
6	菅川の最下流は大きな問題があるが認識しているか。	県	被災要因や対策については、有識者で構成するあり方検討会において検討している。検討結果を踏まえた対策を実施していく。	※飛行機音あり
	菅川の JR の鉄橋が水の流れを妨げたのでは？桁下の高さもともと 5 m あっても、鉄橋の厚みで実質 3 m しかない。	県	沼田川の流下能力の向上が支川にも効果があるため、本川の堆積土の除去を重点的に行うこととしており、船木から仏通寺川合流部までの間を 10 月上旬までの完了を目指して進めている。	
	土砂取ったあとの完成状況はどうなるか？ 今後は計画的に撤去してほしい。	県	現在は、緊急対応が必要な範囲を実施しています。今後も計画的に実施していく。	※飛行機音あり
7	船木地区の住民は河川、道路の状況を把握している。把握した内容を定期的に協議する場を設けて欲しい。	市	場を設けたいと思います。	
8	り災証明交付について ①床上 1 m 以上浸水したため、り災証明の申請をしたが、申請数日後に交付できないとの連絡があった。被災時にも家にいたが住民票がないためと言われた。確認しておいて欲しい。	市	住家は、り災証明、住家以外は被災届出証明書を交付している。 生活の拠点が被災しているというのが条件。 住民票がある。または住民票がなくとも生活実態があれば。（→個人の相談等は個別に。）	
9	義援金について、岡山では 3 回支給されているが、広島県では 1 回。	市	広島県からの配分はまだ第 1 次しかない。第 2 次以降の配分については具体的な内容を伝えられない。県が 9 月中に被災状況を把握し、10 月以降動きがあるということなので、市として準備していく。	平成 30 年 10 月 12 日に第 2 回配分委員会を開催し、第 2 次配分として、61 億 9816 万円を市町に配分することを決定（10 月 18 日に各市町へ配分予定）
	土のうが朽ちてくると思うけど、どういう風に工事をしていくのか。 どういう回答方法で、住民に提示していくのか。	県	土のうは今後、復旧にあわせて撤去していく。 沼田川の改修計画は、川幅を広げると周辺施設への影響が大きいため、堤防の位置は変えず、川底を掘り下げることを基本に検討している。 あり方検討会は 12 月までに 3 回を予定しており、結果の提示方法は今後検討する。	※飛行機音あり
10	いろんな提案を行政にしているけれど、返ってくることはほぼない。 議事録は誰が取っているのか。 沼田川の状況と写真を撮って、文書で 1 年目 2 年目回答がなかった。 去年、文書で回答あった。「予算がありません」「町内会へ順番がきません」 きちんと議事録を取って、きちんと住民へ回答や文書を出し	市	まとめ次第。1 ヶ月以内に。	

	てください。 資料を当日配ると勉強できない。			
11	あり方検討会の議事録も公表してください。	—		(要望のみ)
12	市の窓口でたらい回しにされた。 アパートを7棟経営しているが、住民に避難を促し、入居者が出たので収入がなくなった。保険金が出てもアパートの修理には足りない。	市	(冒頭、窓口対応について謝罪) 資産税課は資産の被災状況 り災証明に基づき10月初めに減免申請書に記載。 今年度の固定資産税を減免。 社会福祉課は義援金、住宅再建の関係の事務。各課で調整していきたい。	※飛行機音あり
13	ダム管理・流し方について これから雨が降るとわかっているなら、予めダムの水を抜けばよいのではないか。もっといい流し方を考えてほしい。	県	水位を下げられるところまで下げて今回の雨を迎えた。最大限容量を使って決まったルールに基づいて一定量調節している。ダム管理のあり方については検討会の中で検討している。	※飛行機音あり
14	堤防を上げて3方向をコンクリートで固めてほしい。 岡山県のように、堤防の高さを上げて欲しい。	—		(要望のみ) ※飛行機音あり
15	県知事は来たか。	県	何回か来ている。	
16	山陽道8箇所、山崩れ。二次災害防止のため、砂防ダム(治山ダム)の設置を。	県	市と共に現地調査を行い、要望箇所の調整を行ってきた。 治山ダムで対応すべきものについては、国に要望していく。 一般的な手続きとして、段階的に国に要望していくこととなり、年末明けを一応の目途としている。	※飛行機音あり
17	沼田川、菅川も決壊しないようにしてほしい。 災害が起きたのは砂が溜まったからか、ダムを放流したからか。	県	原因については検証していく。あり方検討会における検討結果を公表する。	
18	土砂についてはどこに相談したらいいか。	市	8月8日に市役所4階に災害廃棄物対策チームを設置している。そこに相談してほしい。 領収書、内訳書、写真が必要。まず相談を。	※飛行機音あり
19	災害援護資金の保証人について。	市	市内に居住している人を保証人としてお願いしている。 これとは別に社会福祉協議会の貸付制度がある。 後で個別に説明したい。	